

映画監督が共鳴するロックバンド THE BACK HORN

世界から賞賛を受ける映画監督 熊切和嘉

光の音色

— THE BACK HORN Film —

MUSIC BY
DIRECTED BY

THE BACK HORN
KAZUYOSHI KUMAKI



言葉や感情を音楽で表すという映画

音楽：THE BACK HORN × 監督：熊切和嘉

スリリングな化学反応が生み出した、 どこにもなかった映像と音楽の奇跡の融合——。

いつなのか、どこなのか分からない世界の果ての、世界の終わりー。

全てを失った夜に“光”は降りそそぎ、音楽を奏で始める。

1998年結成。“KYO-MEI”という言葉をもとに聴く人の心をふるわせる楽曲を奏で続け、势力的なLIVEとリリースで日本のロックシーンに確固たる立場を確立しているTHE BACK HORN。そのオリジナリティあふれる楽曲の世界観から、『アカルイミライ』（監督：黒澤清）、『CASSHERN』（監督：紀里谷和明）、『ZOO』（原作：乙一）、『機動戦士ガンダム00』（監督：水島精二）など、数多くの映画やアニメとのコラボレーションも行っている。ライブハウスから武道館へ、そして数々のフェスへの出演と予測のつかない活動を展開し、常に進化と深化を続け、他の追随を許さない孤高のロックバンドである。

一方、奇しくもTHE BACK HORNの結成と同じ年である1998年に『鬼畜大宴会』で衝撃のスクリーンデビューを飾った後、『青春金属☆バット』、『ノン子36歳（家事手伝い）』、『海炭市叙景』、『莫逆家族 バクギャクファミーリア』、『夏の終り』と誰にも作れない映画を発表し続け、数々の国際映画祭での受賞が世界的な評価を証明している熊切和嘉監督。最新作『私の男』では映画化不可能と言われていた原作に果敢に挑む“鬼才”である。

本作『光の音色ーTHE BACK HORN Filmー』ではTHE BACK HORNと熊切和嘉が奇跡のタッグを結成。この化学反応が単なる足し算に終わるはずもなく、世界のどこにもない唯一無二の映画が遂に完成した。お互いの才能に敬意を払いながら行われた妥協を許さないスリリングな映画制作の過程はまさに何か新しいものを生み出す熱気に満ちたドラマチックなものとなり、撮影はロシアのウラジオストックへと及んだ。そして遂に全映画ファン、全音楽ファン待望の映画が完成した！

光がスクリーンに触れる時、
音楽は言葉と感情になる。



監督・脚本・編集：熊切和嘉
出演：THE BACK HORN 他
音楽：THE BACK HORN
制作：コネクツ
製作：THE BACK HORN Film 製作委員会（松竹、ビクターエンタテインメント、日販）
配給：松竹メディア事業部・日販 宣伝：ピースインターナショナル
Photo by AZUSA TAKADA
2014年 / 日本 / 85分（予定） / 5.1ch / シネマスコープ / カラー / デジタル
©2014 THE BACK HORN Film Partners
公式HP <http://www.hikarine.com/>
公式Facebook <https://www.facebook.com/hikarine>
公式Twitter @hikarine_tbh

特別鑑賞券 1,800円

今秋、全国ロードショー！

7/1(火)よりTHE BACK HORN CLUB 銀河遊牧民チケット先行販売決定！

THE BACK HORN オフィシャルサイト <http://thebackhorn.com> | THE BACK HORN CLUB ~銀河遊牧民~会員専用サイト
[会員専用] <http://thebackhorn.com/fanclub> [お問い合わせ] 03-5467-9272 (平日 11:00-18:00)

7/12(土)より一般発売開始！